

問1 大伴家持が活躍し、万葉集がまとめられたのは何時代？

1. 鎌倉時代 2. 平安時代 3. 飛鳥時代 4. 奈良時代

問2 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？

1. 藤原京 2. 平城京 3. 平安京 4. 長岡京

問3 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？

1. 古代国家 2. 中央集権国家 3. 律令国家 4. 封建国家

問4 奈良時代、唐の文化の影響を強く受けて華やかに発展した文化を何という？

1. 天平文化 2. 飛鳥文化 3. 白鳳文化 4. 国風文化

問5 奈良時代、人口増加に伴う口分田の不足を解消するために、開墾した土地の永代私有を認めた法律を何という？

1. 大化の改新 2. 三世一身法 3. 公地公民制 4. 墾田永年私財法

問6 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？

1. 寝殿造 2. 書院造 3. 校倉造 4. 数寄屋造

問7 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになった結果生まれた、私有地のことを何という？

1. 保 2. 荘園 3. 名田 4. 公領

問8 天皇を中心として、国司や郡司などの仕組みを整えて全国を支配した国家体制を何という？

1. 律令国家 2. 封建国家 3. 都市国家 4. 中央集権国家

問9 8世紀初めに編纂された、神話から推古天皇までの日本の成り立ちを記した歴史書を何という？

1. 懷風藻 2. 日本書紀 3. 風土記 4. 古事記

問10 万葉集にある歌の序文から引用された、現在の日本の元号を何という？

1. 平成 2. 令和 3. 大正 4. 昭和

問11 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？

1. 一国平均役 2. 土地台帳 3. 公地公民 4. 荘園公領制

問12 奈良時代の仏教文化を象徴する建造物で、西アジアの品々も収められている有名な寺院を何という？

1. 東大寺 2. 法隆寺 3. 唐招提寺 4. 薬師寺

問13 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？

1. 国分寺 2. 元興寺 3. 大安寺 4. 国分尼寺

問14 唐だけでなく、シルクロードを経由して日本に影響を与えた地域の文化を何という？

1. 中央アジア 2. 東アジア 3. 西アジア 4. 東南アジア

問15 奈良時代、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化を栄えさせた天皇は誰？

1. 光仁天皇 2. 聖武天皇 3. 称徳天皇 4. 元明天皇

答え合わせ・解説

問1	答え 4 奈良時代	奈良時代は、仏教文化が花開くとともに、国史の編纂や文学作品の執筆が盛んに行われた時期です。歌人である大伴家持はこの時代の末期に活躍し、彼を中心に日本最古の歌集である『万葉集』が編纂されました。この時代、国家が整い、大陸の文化を吸収しながら日本独自の個性を確立しようという気運が強まっていました。
問2	答え 2 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問3	答え 3 律令国家	律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。中央では二官八省が行政を担い、地方では国司と郡司が行政の実務を行うシステムが構築されました。
問4	答え 1 天平文化	天平文化は、東大寺大仏の建立や唐招提寺のような壮麗な建築、精巧な仏像彫刻などが特徴です。また、『古事記』や『日本書紀』の編纂など、歴史書や文学においても大きな発展が見られました。
問5	答え 4 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の永代私有を認めるものです。それまでは一定期間後に土地を返還するルールでしたが、この法律により私有が認められたことで、農民や有力者による開墾が活発になりました。
問6	答え 3 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問7	答え 2 荘園	こうして形成された私有地が荘園です。有力者は税を逃れるために土地を荘園として確保し、支配力を強めました。これにより、天皇を中心として全国の土地と民を直接支配する「公地公民」の制度が維持できなくなりました。
問8	答え 1 律令国家	律令国家とは、法律（律と令）に基づき、官僚組織を整えて全国を支配する体制です。中央には太政官などの行政機関、地方には国・郡・里を設置し、中央から役人を派遣しました。この仕組みにより、戸籍を作成して人々に税を課し、中央政府が全国の土地と人民を把握する支配構造を実現しました。
問9	答え 4 古事記	
問10	答え 2 令和	「令和」は、日本で初めて日本の古典（国書）から選ばれた元号です。奈良時代の歌人である大伴旅人らが、梅の花を愛でる宴で詠んだ歌の序文にある「初春の令月にして、気淑く風和らぎ」という一節から引用されました。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。
問11	答え 3 公地公民	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。
問12	答え 1 東大寺	東大寺は、当時の都である平城京に建立された巨大な寺院です。特に聖武天皇が発願した「東大寺の大仏」は、当時の国家の威信と仏教への信仰心の象徴でした。この寺院の宝物を収める正倉院には、シルクロードを経由して伝わった多くの貴重な宝物が現在も保管されており、当時の国際交流の様子を伝えています。
問13	答え 4 国分尼寺	国分尼寺は、国分寺と同様に「鎮護国家」の願いを込めて建てられました。法華滅罪之寺とも呼ばれ、女性僧侶（尼）が修行を行い、祈りを捧げる場所でした。各地の国府の近くに建てられ、国分寺とともに仏教信仰の地域的拠点として重要な役割を果たしました。
問14	答え 3 西アジア	日本が派遣した遣唐使を通じて、唐には西アジアのペルシャ文化やインドの仏教美術などが流入していました。それらは日本にも伝わり、東大寺の正倉院に収められている宝物の中に、ガラス器や独特の模様が施された品々として確認できます。
問15	答え 2 聖武天皇	聖武天皇は熱心な仏教徒で、仏教による国の守り（鎮護国家）を理想としました。彼が中心となって栄えた文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使を通じて唐や西域の文化を積極的に取り入れました。